

Mr.Children 楽曲の千変万化

-桜井和寿が作詞した楽曲の
テキストマイニング分析-

日本大学生産工学部マネジメント工学科

第3学年 平野未来

I .はじめに

「Mr.Children」

Mr.Childrenはメンバー桜井和寿(Vo)、田原健一(G)、中川敬輔(B)、鈴木英哉(Dr)により、1989年に結成された日本のロックバンド。1992年5月10日、ミニ・アルバム「EVERYTHING」でメジャー・デビュー。CD総売上枚数は5920.4万枚(2017年1月時点)を誇る。

またMr.Children楽曲の作詞・作曲のほとんどをヴォーカルの桜井和寿が担当している。

「桜井和寿」

桜井 和寿(さくらい かずとし)は、日本のミュージシャン、シンガーソングライターでありロックバンド・Mr.Childrenのボーカリスト兼ギタリスト。

東京都練馬区出身で1970年3月8日生まれ。Bank Bandのボーカル・ギター、ウカスカジーのボーカルとしても活動している。

Ⅱ.目的

本研究はMr.Children楽曲ほとんどの作詞を担当している桜井和寿の経歴とともに彼の書いた歌詞の言葉に着目し、歌詞の言葉の変化から彼がその時歌にのせて本当に伝えたかったこと、桜井和寿という一人の人生の本質を見出すことを目的とする。

Ⅲ.方法

1. 分析対象

Mr.Childrenがメジャー・デビュー後に公式に発表した楽曲から instrumentalなどの詞のない楽曲、桜井和寿が作詞を担当していない楽曲を省いた230曲(1992.5.10～2018.10.03)を対象とした。

* 歌詞はMr.Children全曲詩集「Your Song」(通常版)より

2. 分析方法 NTTデータ数理システムText Mining Studio使用

- (1) Mr.Children楽曲の歌詞の特徴を示すため、本研究に用いた全曲(230曲)をテキストマイニング分析を行い、全体の歌詞の雰囲気を表す。
- (2) Mr.Children楽曲の歌詞の変化を示すため、時系列で年代別、1990年代、2000年代、2010年代の3つに分けてテキストマイニング分析を行う。またこれは、歌を書いている桜井和寿の20代、30代、40代にもあたり、彼の書いた歌が彼の歩んだ人生にどのように反映されているかを示す。

IV.結果と考察(1)

Mr.Children全曲(230曲)歌詞の分析

- ・頻度推移単語頻度解析

- …Mr.Childrenの楽曲でよく用いられる言葉から曲のイメージを知る。

- ・頻度推移係り受け頻度解析

- …係り受けより、曲の背景を知る

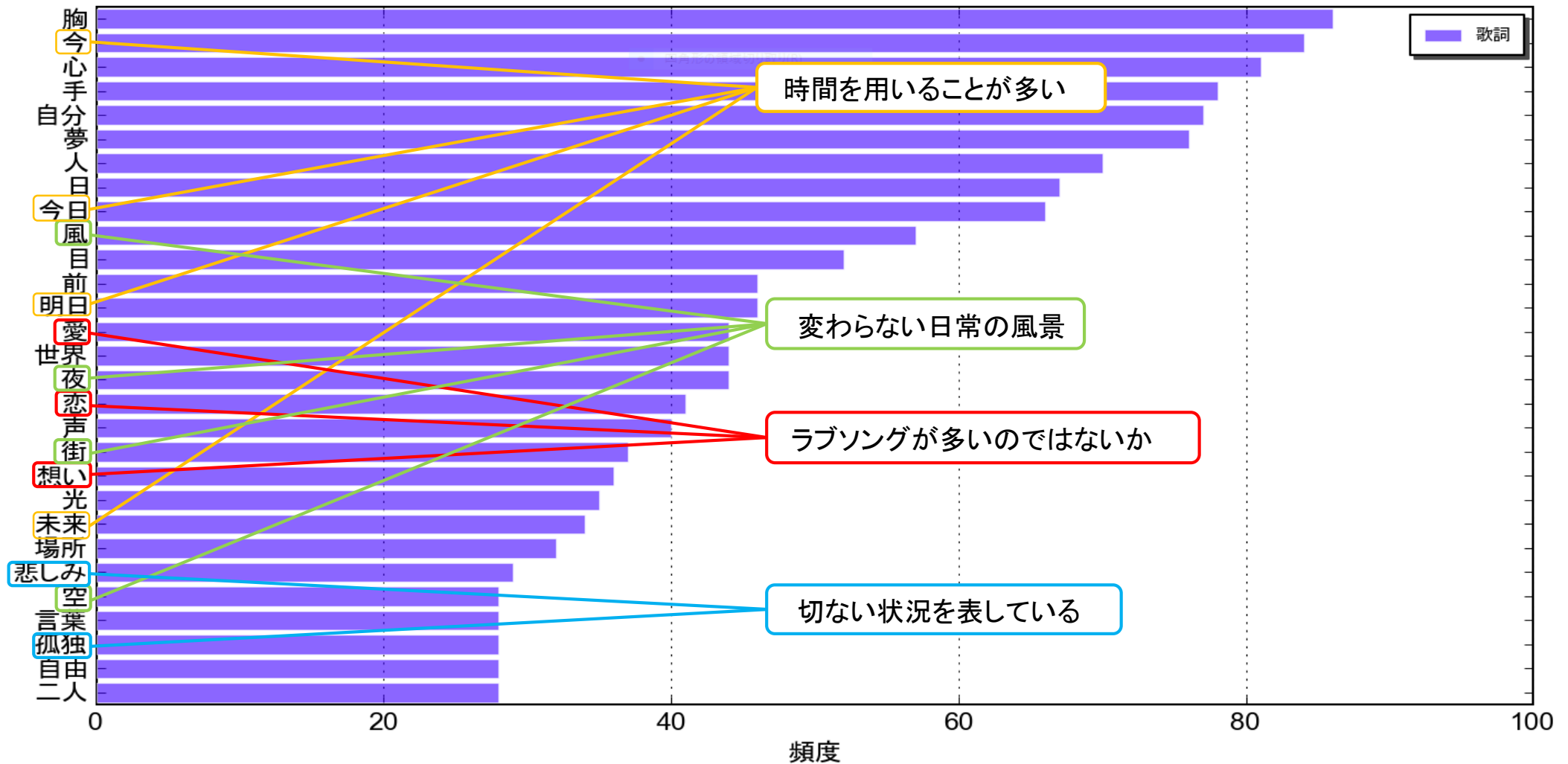
- ・評判分析評判抽出

- …どのような言葉が良く悪く用いられているかから桜井和寿の言葉の捉え方を知る。

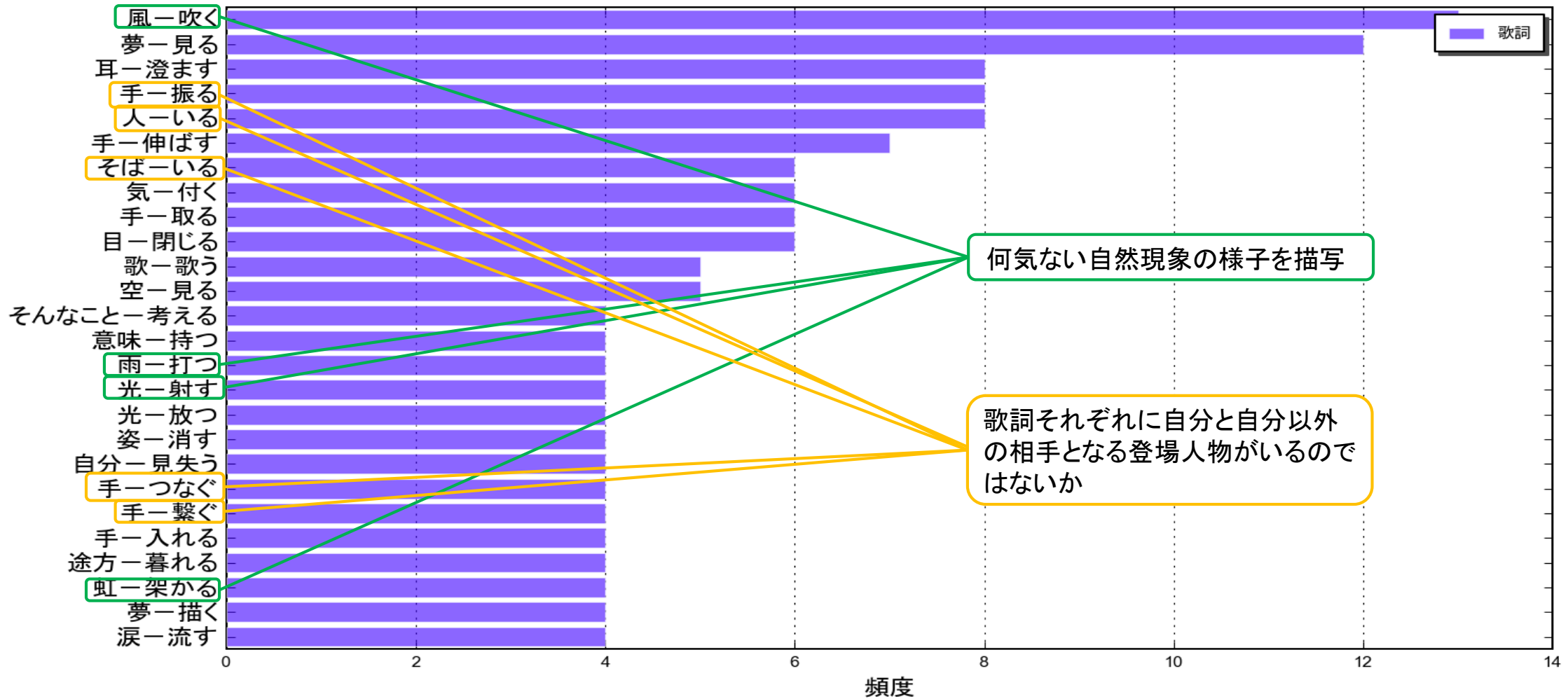
- ・話題分析ことばネットワーク

- …歌詞の中で用いられる桜井和寿の言葉の表現を知る。

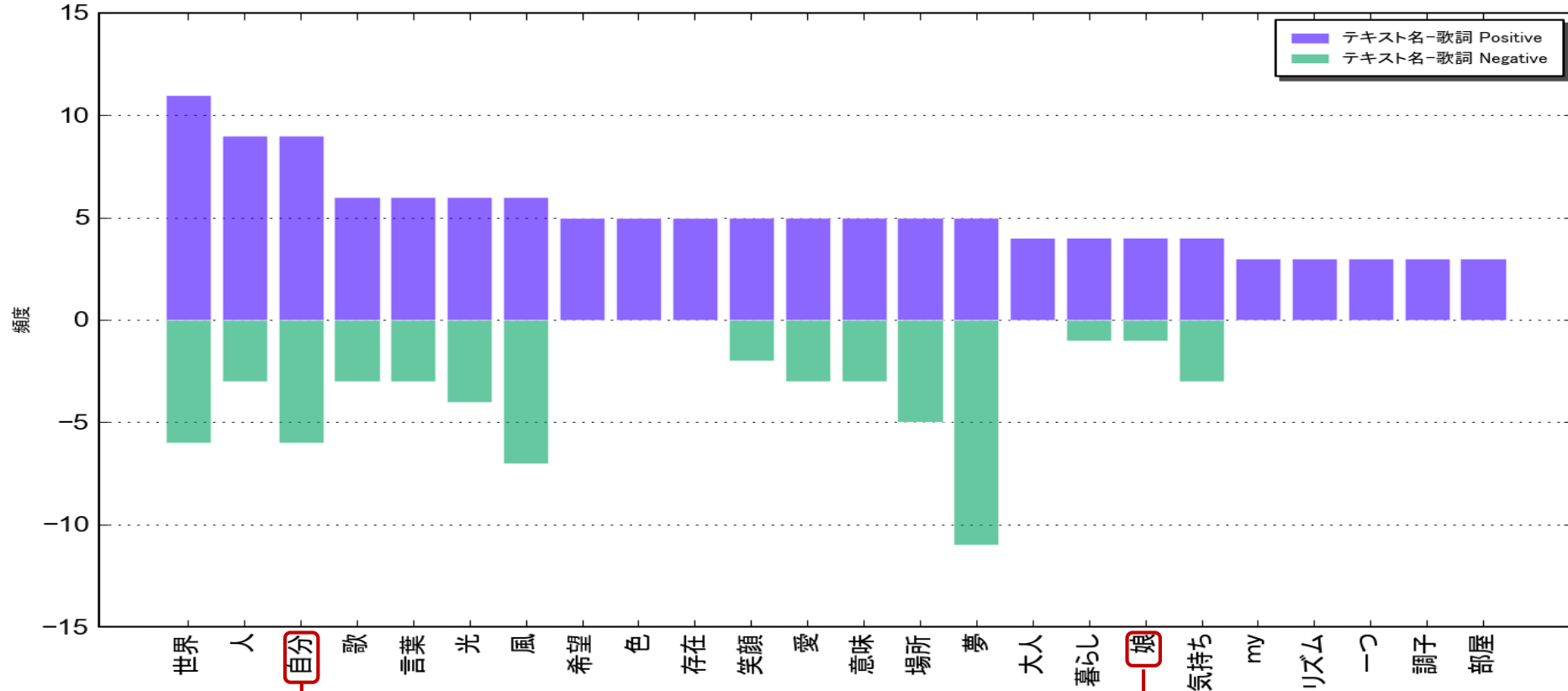
Mr.Children 歌詞の単語頻度解析



Mr.Children歌詞の係り受け頻度解析



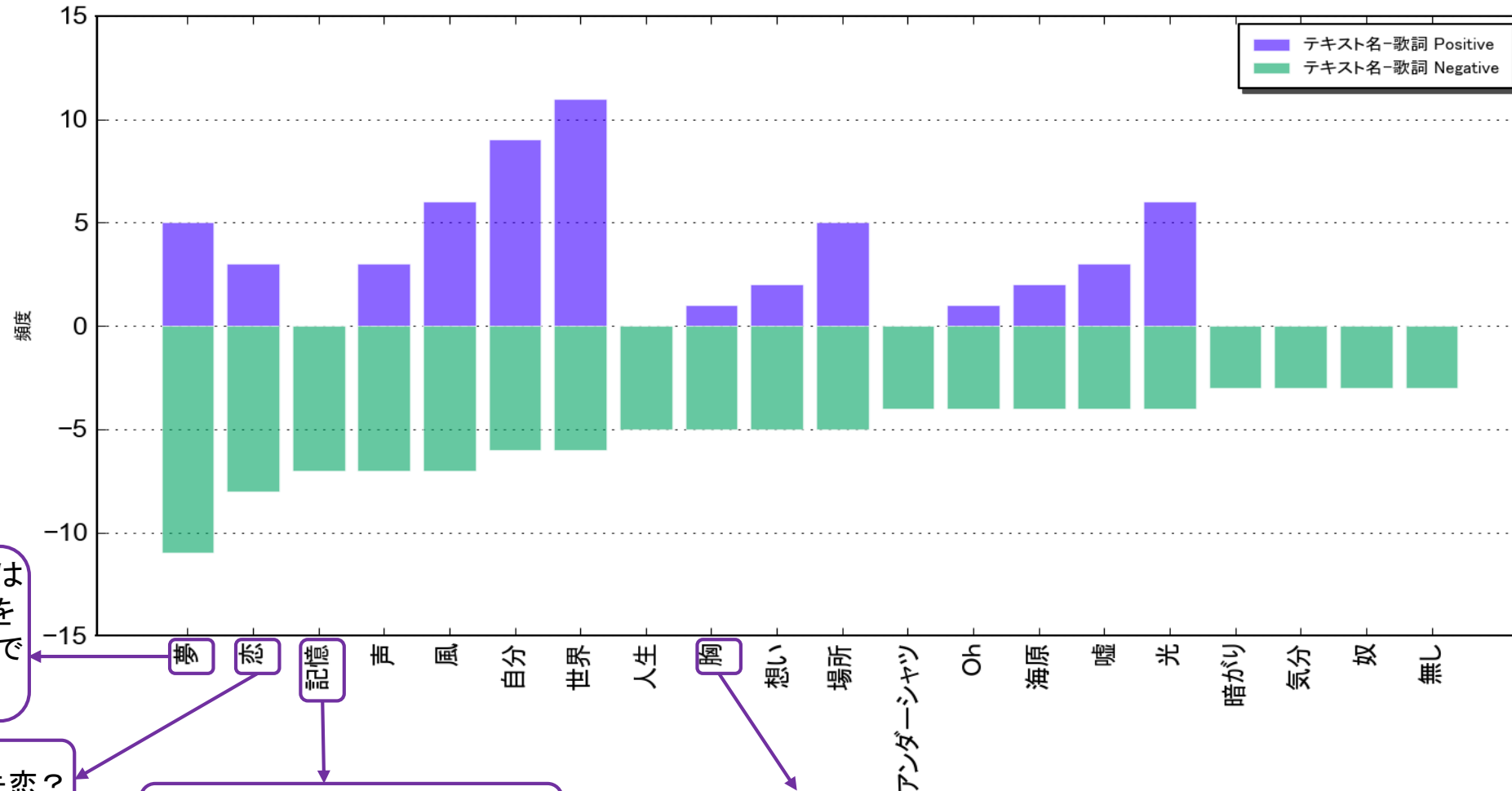
Mr.Children 歌詞の評判抽出(好評語)



自分自身はポジティブなものとして捉えているのではないか

自身の子供への愛しさや期待感などが歌詞に表現されているのではないか

Mr.Children 歌詞の評判抽出(不評語)



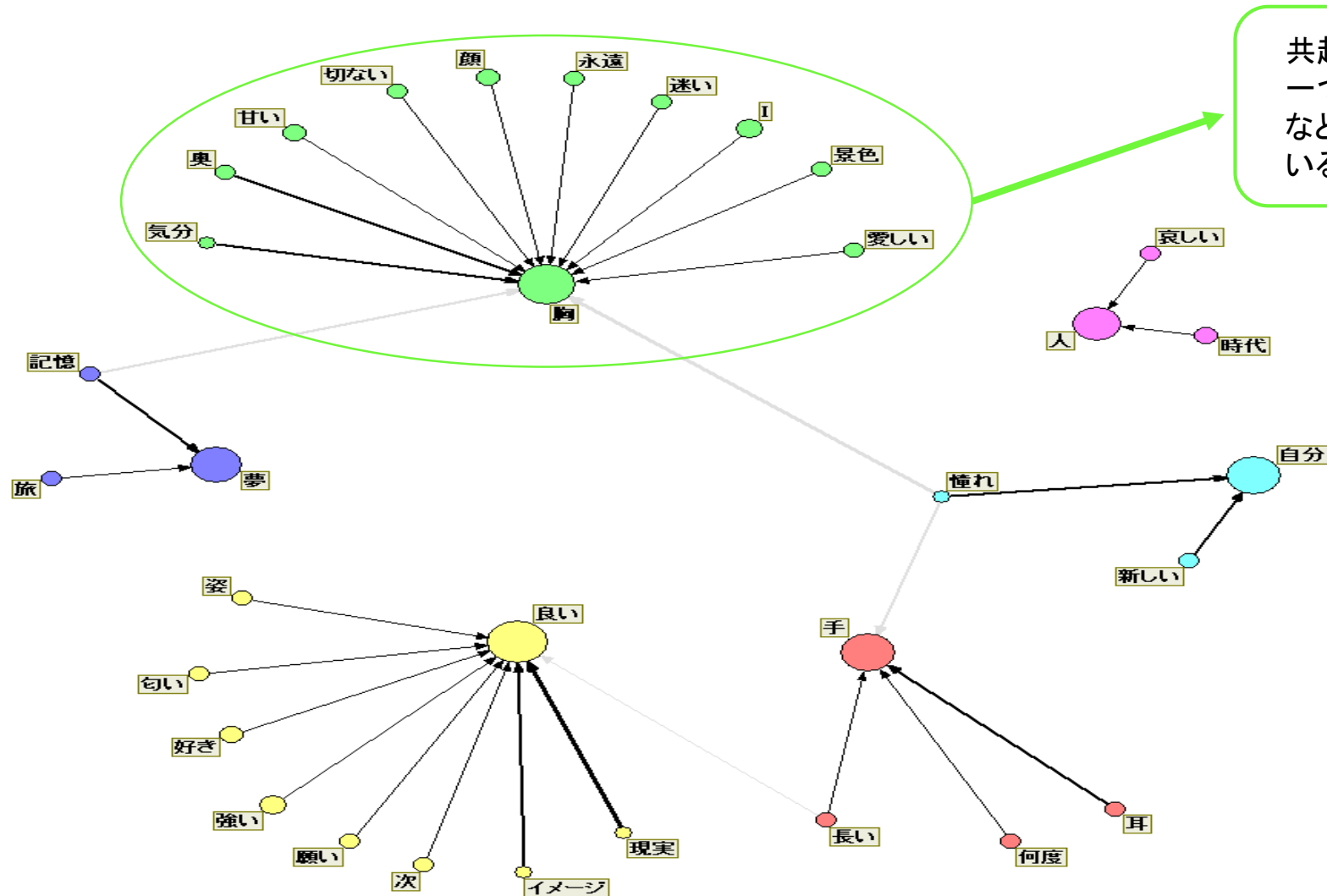
必ず叶うものではないという現実を表現しているのではないか。

失恋?

過去のものはネガティブな意味をなしているのではないか

心の中では悲観的な感情が?

Mr.Children 歌詞のことばネットワーク



共起している言葉などから本来の体の部位の一つの”胸”という意味ではなく、気持ちや感情など”心”という言葉に近い意味で用いられているのではないか

本来の言葉の意味とは違い、類似するモノなどで表現する比喩に近い表現が歌詞に込められているのではないかと考えられる。

V.結果と考察(2)

Mr.Children全曲(230曲)歌詞の年代別時系列分析

- ・頻度分析単語頻度解析

- …3つの年代に分け、それぞれの年代の頻出語と桜井和寿の経歴とを比較し、彼自身の本質を知る

- ・時系列分析単語頻度推移(頻度上位 & 頻度の変動が大きい単語)

- …2つの推移からその当時桜井和寿自身ともっとも影響したとされる語句から彼の心情知る

- ・特徴分析特徴語抽出

- …各年代の歌詞の特徴から彼自身の本質を知る

1990年代の桜井和寿(20代)来歴

1992年 アルバム『EVERYTHING』で「Mr.Children」としてメジャーデビュー。

1994年 一般女性と結婚

1997年 元アイドルの女性との不倫が女性週刊誌などで報じられる

Mr.Children歌詞(1990年代)の単語頻度解析

	単語	合計		単語	合計		単語	合計
1	心	34	13	言う	18	27	I	12
2	夢	32	13	生きる	18	27	my	12
3	胸	31	14	想い	16	27	愛する	12
4	良い	29	15	love	15	27	自由	12
5	愛	27	19	街	14	27	声	12
6	人	26	19	見る	14	33	言葉	11
7	恋	24	19	孤独	14	33	思う	11
10	いる	20	19	探す	14	33	笑顔	11
10	自分	20	22	you	13	33	生まれる	11
10	風	20	22	時代	13	33	未来	11
11	手	19	22	笑う	13	33	目	11

“愛”や”恋”、”想い”、”love”、”愛する”などから1990年代の歌にはラブソングが多く自身の恋愛や結婚などから歌を書くことも多かったのではないかとと思われる。”生まれる”などの単語から子供を描いているのではないかと考えられる。また自身の不倫騒動の影響などからか”孤独”などのネガティブな表現も多く見られた。

2000年代の桜井和寿(30代)来歴

2000年5月 前妻と離婚。

6月 不倫関係にあった女性と再婚

2002年7月 小脳梗塞により約半年の間、音楽活動を全て休止。

12月 病気療養から復帰、音楽活動を再開

2003年6月 小林武史、坂本龍一らと非営利組織「ap bank」を設立。

2004年1月、ap bankの活動の一環として「Bank Band」を結成。

Mr.Children歌詞(2000年代)の単語頻度解析

	単語	合計		単語	合計		単語	合計
1	良い	40	13	いる	22	21	光	16
3	胸	36	13	人	22	23	見る+できる	15
3	手	36	13	声	22	23	行く	15
4	自分	31	14	風	21	30	愛	14
5	心	30	15	世界	20	30	歌う	14
7	見る	27	18	場所	18	30	悲しみ	14
7	言う	27	18	探す	18	30	分かる	14
8	笑う	26	18	知る	18	30	歩く	14
10	夢	24	20	街	17	30	未来	14
10	目	24	20	思う	17	30	優しい	14

“見る”や“言う”、“笑う”などの日常的に人間が行っている動詞が多く見られた。これは自身が病気で死をも間近に体感したことから日常の様々な行動を描写しているのではないかと考えられる。またこの病気のあとからap bankなど様々な慈善活動にもより力を入れている。

2010年代の桜井和寿(40代)来歴

2014年 GAKU-MCとのユニット「ウカスカジー」でアルバム『AMIGO』をリリース。

2017年 Mr.Childrenデビュー25周年

2018年 『Mr.Children Tour 2018-19 重力と呼吸』スタート

Mr.Children歌詞(2010年代)の単語頻度解析

	単語	合計		単語	合計		単語	合計
1	自分	26	10	思う	15	20	強い	10
2	手	23	12	いる	14	20	自由	10
4	人	22	12	世界	14	26	空	9
4	良い	22	14	見る	13	26	場所	9
5	夢	20	14	生きる	13	26	想い	9
6	胸	19	17	言う	11	26	未来	9
8	心	17	17	光	11	26	優しい	9
8	目	17	17	知る	11	26	涙	9
9	風	16	20	いる+ない	10			

Mr.Childrenがデビュー20周年、25周年と様々な節目を迎えたり、セルフプロデュースをしていくなど新たな船出の機会などから、“自分”という主人公をたてている歌が多いのではないかと考えられる。また悲観的な意味を指す言葉が減ったことも特徴的である。

Mr.Children 歌詞の単語頻度推移(上位頻度)

	単語	1990	2000	2010	合計		単語	1990	2000	2010	合計
1	胸	31	36	19	86	16	夜	21	15	8	44
2	今	24	37	23	84	17	恋	24	10	7	41
3	心	34	30	17	81	18	声	12	22	6	40
4	手	19	36	23	78	19	街	14	17	6	37
5	自分	20	31	26	77	20	想い	16	11	9	36
6	夢	32	24	20	76	21	光	8	16	11	35
7	人	26	22	22	70	22	未来	11	14	9	34
8	日	27	26	14	67	23	場所	5	18	9	32
9	今日	18	21	27	66	24	悲しみ	9	14	6	29
10	風	20	21	16	57	29	空	9	10	9	28
11	目	11	24	17	52	29	言葉	11	12	5	28
12	前	13	22	11	46	29	孤独	14	9	5	28
13	明日	15	18	13	46	29	自由	12	6	10	28
16	愛	27	14	3	44	29	二人	17	9	2	28
16	世界	10	20	14	44	30	昨日	3	15	8	26

時間を表す単語の”今日”は年々に使われることが増えている。これは年が経つにつれての1日の重さが異なるということが考えられる。逆に”愛”や”恋”などの言葉が年々減少していることから、ラブソングの数は減っていることが考えられる。また”自由”という言葉から2000年代は病などの影響で自由がないからか最も使われていないが、暗闇にいることで明るさが分かるという意味からか”光”という言葉は最も2000年代に使われている

Mr.Children歌詞の単語頻度推移 (頻度の変動が大きい単語)

	単語	1990	2000	2010	合計	標準偏差
1	愛	27	14	3	44	9.809
2	恋	24	10	7	41	7.409
3	手	19	36	23	78	7.257
4	心	34	30	17	81	7.257
5	胸	31	36	19	86	7.134
6	声	12	22	6	40	6.6
7	今	24	37	23	84	6.377
8	Oh	19	6	6	31	6.128
9	二人	17	9	2	28	6.128
10	love	15	4	2	21	5.715
11	場所	5	18	9	32	5.437
12	夜	21	15	8	44	5.312
13	目	11	24	17	52	5.312
14	夢	32	24	20	76	4.989
15	昨日	3	15	8	26	4.922
16	前	13	22	11	46	4.784
17	街	14	17	6	37	4.643
18	自分	20	31	26	77	4.497

“愛”や“恋”などは最も頻度の変動が大きく、これは恋愛というものに触れる機会が年齢とともに減少している、または伝えたいことが変わってきたためと考えられる。

“心”や“胸”など頻度の変動が大きいことから自分の中で収めていた思いなどを外に出していくことが出来るようになり、ゆとりを持てるようになってきたと考えられる。

“夜”という単語が年々減少していることから生活リズムの変化があるのではないかと思われる。

Mr.Children 歌詞の特徴語抽出

1990年代	指標値	2000年代	指標値	2010年代	指標値
愛	22.517	声	12.705	今日	26.462
恋	18.577	場所	10.983	自分	17.962
Oh	15.817	手	10.659	日々	17.65
love	15.132	音	10.014	人	12.488
中	14.199	昨日	9.691	向こう	10.838
二人	13.952	景色	9.583	目	10.82
まま	11.382	姿	8.345	頭	10.388
my	11.192	暗闇	8.291	手	10.361
時代	10.983	歌	8.022	耳	9.829
頃	10.64	前	7.86	ひとつ	8.711
you	10.221	今	7.859	首	8.38
夜	10.069	答え	7.537	涙	8.261
heart	9.746	目	7.106	世界	8.252
your	9.194	一緒	7.053	すべて	8.151
心	8.869	最後	7.053	希望	8.151
夢	8.527	足	7.053	道	8.151

1990年代の特徴としては”愛”や”恋”、”二人”などラブソングとして使われそうな言葉が上位で、桜井さん自身の様々な愛のカタチを表現していたのではないかと考えられる。また”Oh”や”love”など英語の語句もよく見られた。

2000年代の特徴としては”声”や”暗闇”などから自身への様々な声や死をも間近に体験した病気などからものがき苦しんだ様子が考えられ、それらの”答え”を導き出すさまも読み取れる。

2010年代の特徴として”目”や”頭”、”手”、”耳”、”首”など体の部位を表す言葉を多く用いている。また2000年代では”昨日”が上位にあったが、2010年代は”今日”が最も指標値が高かった。”昨日”より”今日”、過去より現在というメッセージが込められているのではないかと考えられる。

VI.まとめ

・1990年代、2000年代、2010年代と3つの年代の中で桜井和寿自身が経験した物事やそれに対する喜びや悲しみなどの感情が歌詞に強く影響していてMr.Childrenの楽曲の歌詞は桜井和寿自身の日記のようなものとも感じ取れるのではないかと考えられる。

・私は桜井和寿という一人の天才が好きでリスペクトしていますが、彼自身も一人の人間で辛いこともあれば、苦しむこともある。私と変わらないのかなと思いました。その中でどのような感情を抱き、何か物事に取り組んでいくかの大切さなどを彼自身が歌詞にのせ、Mr.Childrenの楽曲として歌われているのではないかと考えました。